

第37期

第2四半期株主通信

2016年1月1日～2016年6月30日

IR Report



中期経営計画の目標達成に グループ一丸となって一層の努力

皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は創業以来、日本からの輸出混載貨物を中心に取扱い、2008年に東証二部に上場、そして2015年には一部にステップアップすることができました。

大きく変化し続けている日本の貿易環境に対応し、今後も輸送業者としての使命を果たしてまいります。

2016年度上半期の市場動向

国内の雇用・所得環境は緩やかな回復基調が続いていますが、海外経済の下振れリスク等もあり、依然として先行きは不透明な状況です。当社業績に大きな影響を及ぼす貿易についても、輸出入ともに力強さを欠く状況が続いており、伸び悩みが長期化する恐れが出てきています。このような中、当社グループは中期経営計画の最終年度となる当期、当第2四半期連結累計期間において、当初の戦略方針に沿って努力してまいりました。

当第2四半期の業績

単体では、主力の輸出混載輸送売上が対前年同期比で数量、金額とも下回って推移し、輸出フルコンテナ輸送上や航空輸送上においても前年実績を下回りました。また、連結子会社においても、国内子会社、海外子会社とも総じて減収減益となりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は100億13百万円(前年同期比11.9%減)、営業利益は5億78百万円(同26.0%減)、経常利益は5億9百万円(同34.4%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億52百万円(同25.6%減)と、いずれも前年同期を下回りましたが、諸施策の実行により目標を達成すべく一層の努力をしております。



中国深圳に新たな拠点を設立し 香港・中国華南地区での営業力を強化



深圳事務所入居のオフィスビル

経済発展がめざましい ASEAN 諸国と中国の接点として注目される華南地区。その中枢都市・深圳に初の日系物流会社を設立し、日本向けダイレクト混載サービスなどを展開しています。

海外現地法人の拡充は、当社グループの最重要課題の一つです。中国では、上海をはじめ5拠点で混載とフルコンテナ輸送事業を展開していますが、華南地区広東省深圳の前海自由貿易試験区に内外特浪速運輸代理(香港)有限公司(以下「香港現地法人」)の子会社(当社の孫会社)を設立。当エリアで初めての日系物流会社として2016年1月から事業を開始しました。

新しい会社の名称は、内外特浪速国際貨運代理(深圳)有限公司(以下「深圳現地法人」)。世界最大級のコンテナ船が入港できる深圳港の中でも最大規模を誇る塩田港からアクセスに優れた場所にCFS(混載貨物専用倉庫)を持ち、深圳発の日本向けダイレクト混載サービスを行っています。配船スケジュールは、東京・大阪へ週2便、名古屋へは週1便です。このCFSには専任スタッフが常駐し、コンテナに貨物を詰め込む作業を厳格にモニタリング、万全の体制で日本まで貨物を送り届けます。また、深圳現地法人は越境ECライセンスを保有しており、中国での越境EC(電子商取引)拡大による物流サービスの需要を取込むことも目的の一つにしています。

一方、香港現地法人は、日本・アジア各国からの貨物を香港経由で華南地区へ届けるサービスの充実にも着手。大小さまざまな河川が入り交じる地域ではバージ

船(内陸水路や港湾内で貨物を積んで航行する船舶)とトラックを使い分けて効率的な配送を進めるほか、広東省へのドアデリバリーの手配なども行っています。

当社グループは香港現地法人と深圳現地法人の連携により、華南地区での営業力強化と物流機能の向上を推進し、より安全、確実、スピーディーな国際物流サービスの提供に力を注ぎ、国際総合フレイトフォワーダーへの道を突き進みます。



深圳事務所内風景



CFS倉庫内風景

<会社概要>

社名	内外特浪速国際貨運代理(深圳)有限公司 NTL-LOGISTICS (SHENZHEN) LIMITED
出資者	内外特浪速運輸代理(香港)有限公司 100%出資(550万人民币元)
事業開始	2016年1月
本社所在地	深圳市罗湖区和平路3001号 鸿隆世纪广场B座28H
事業内容	・海上輸出入混載 ・フォワーディング ・航空貨物事業 ・倉庫事業 ・越境EC事業ほか

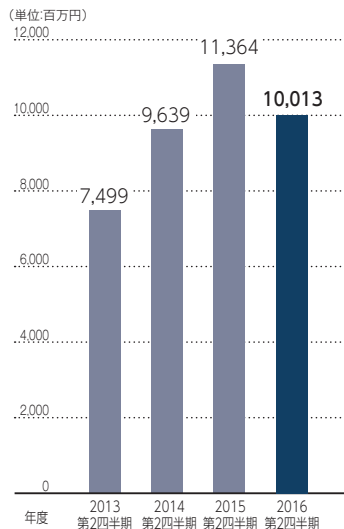
当四半期の業績 (2016年1月～6月)

売上高

10,013百万円

前年同期比

11.9%減



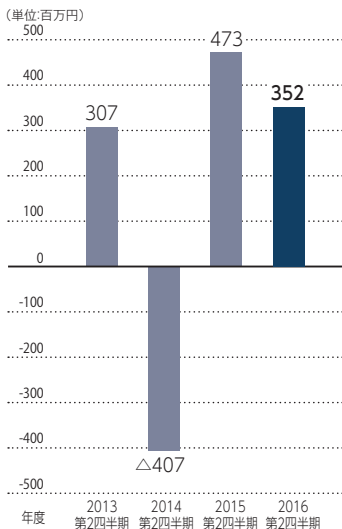
国内では、主力の混載輸送及びフルコンテナ輸送双方で苦戦し、輸入売上も前年同期比減収となるなど、前年同期比12.1%減。海外でも、日本発貨物の減少等により、海外子会社各社が総じて低調に推移し、同11.5%の減少となりました。

親会社株主に帰属する 四半期純利益

352百万円

前年同期比

25.6%減



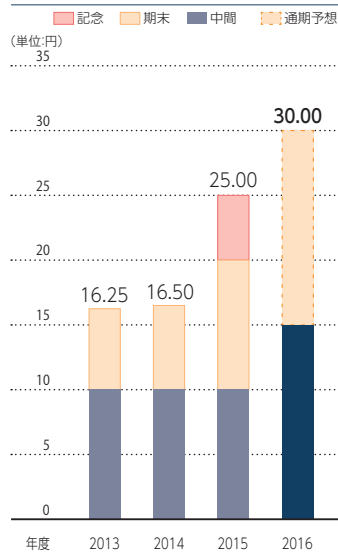
売上が伸び悩む中、販売管理費の抑制等にも努めましたが、連結子会社においても、国内・海外とも総じて減益となった結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は352百万円となりました。

1株当たり配当金

15円

前年同期比

5円増



業績の推移並びに財務状況などを総合的に勘案しつつ、安定的な配当の継続実施を将来にわたり堅持する方針のもと、当第2四半期の配当金は前年同期比5円増の15円とし、通年では計30円とする方針です。

(注) 2015年6月末日を基準日として1:2の株式分割を実施、上記の1株当たり配当金は分割後配当額を表示しております。

■ キャッシュ・フロー指標

(単位：百万円)

	2013年度 第2四半期	2014年度 第2四半期	2015年度 第2四半期	2016年度 第2四半期
営業活動による キャッシュ・フロー	133	328	691	377
投資活動による キャッシュ・フロー	△629	△43	36	△702
財務活動による キャッシュ・フロー	△97	△153	130	1,522
現金及び現金同等物の 四半期末残高	3,036	3,814	5,585	5,445

■ 資産関連指標

(単位：百万円)

	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度 第2四半期
総資産	8,980	9,166	8,863	10,081
純資産	6,625	6,977	6,786	6,576
自己資本比率 (%)	73.1	75.1	72.7	61.5

■ 1株当たり指標

(単位：円)

	2013年度 第2四半期	2014年度 第2四半期	2015年度 第2四半期	2016年度 第2四半期
1株当たり四半期純利益	29.20	△38.10	44.30	36.34

(注) 2015年6月末日を基準日として1:2の株式分割を実施、上記金額は分割後の1株当たり四半期純利益を記載しております。

会社概要

2016年6月30日現在

社名	内外トランスライン株式会社 (英名：NAIGAI TRANS LINE LTD.)	加入団体	FIATA IATA 国際フレイトフォワードーズ協会 (JIFFA) 日本貿易振興機構 (JETRO)
設立	1980年 5月 1日		大阪商工会議所 東京商工会議所 神戸商工会議所 名古屋商工会議所
代表取締役社長	常多 晃		横浜商工会議所 福岡商工会議所
従業員数	568名 (連結)		東京通関業会 横浜通関業会
資本金	243,937,240円		
上場市場	東京証券取引所市場第一部		

国内事業所

2016年6月30日現在

本社	大阪市中央区安土町三丁目5番12号 御堂筋安土町ビル 3階	名古屋支店	名古屋市中区錦二丁目15番22号 りそな名古屋ビル 5階
東京支店	東京都中央区日本橋三丁目8番2号 新日本橋ビル 6階	神戸支店	神戸市中央区東町126番地 神戸シルクセンタービル 5階
横浜支店	横浜市中区日本大通60番地 朝日生命横浜ビル 4階	福岡営業所	福岡市博多区博多駅前二丁目20番1号 大博多ビル 10階

役員一覧

2016年6月30日現在

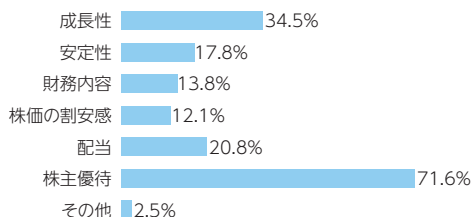
代表取締役会長	戸田 徹	社外取締役	武井 眞哉
代表取締役社長	常多 晃	社外取締役	伊藤 嘉章
専務取締役	大川 友子	常勤監査役	長谷川 豊
取締役	田中 俊光	社外監査役	川崎 裕朗
取締役	三根 英樹	社外監査役	三木 一男
取締役	戸田 幸子		
取締役	太田 達雄		

株主アンケート結果のご報告

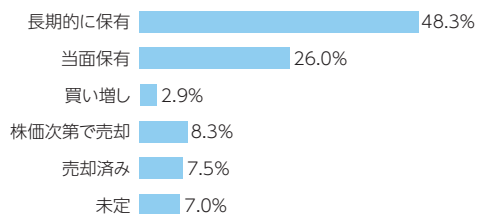


2015年12月期株主優待お申し込みハガキで実施いたしました「株主アンケート」では、全株主様の93.1%に当たる9,851名の方々からご回答いただきました。ご協力いただきました皆様に御礼を申し上げますとともに、集計結果の一部をご報告させていただきます。

質問1 ▶ 当社株式の購入理由(複数回答)



質問2 ▶ 今後の方針



株主様の声 (一部)

物流業界における高い自己資本比率に将来性を感じ、投資している。(50代男性)

総会に毎年出席しているが、雰囲気の良い会社のため、株式も長期保有したい。(50代男性)

さらなる積極的な海外展開でグローバルな物流に期待しています。(40代男性)

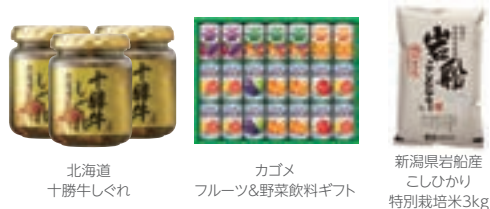
優待品ご紹介

ご好評をいただいております株主様ご優待。前回(2015年12月期)、特に人気の高かった商品をご紹介します。

1,500円相当分



2,500円相当分



※2015年7月1日付株式分割に伴い、2015年12月期末より、株主優待制度の内容を次のとおり変更させていただきました。

保有株式数に応じて商品(カタログより選択)または社会貢献団体へ寄付

◆100株以上200株未満 1,500円相当 ◆200株以上4,000株未満 2,500円相当 ◆4,000株以上 5,000円相当

株主メモ

事業年度：毎年1月1日から12月31日まで

定時株主総会：毎年事業年度終了後、3か月以内に開催いたします。

基準日：定時株主総会 12月31日
期末配当金 12月31日
中間配当金を行う場合 6月30日

株主名簿管理人：東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社

公告方法：電子公告の方法により、下記ホームページに掲載いたします。
ただし、事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
<http://www.ntl-naigai.co.jp/>

単元株式数：100株

上場取引所：東京証券取引所市場第一部

証券コード：9384

お問合せ先：〒168-8507

東京都杉並区和泉2-8-4
みずほ信託銀行 証券代行部
フリーダイヤル 0120-288-324
(土・日・祝日を除く9:00～17:00)

お取扱店：みずほ証券

本店、全国各支店および営業所
プラネットブース(みずほ銀行内の店舗)
でもお取扱いいたします。

みずほ信託銀行

本店および全国各支店
*トラストラウンジではお取扱いできませんので
ご了承ください。

未払配当金：みずほ信託銀行 本店および全国各支店
のお支払 みずほ銀行 本店および全国各支店

(みずほ証券では取次のみとなります)

お取扱窓口：証券会社等に口座をお持ちの場合、住所変更や買取請求等株主様の各種お手続きは、原則として口座を開設されている証券会社等経由で行っていただくこととなりますので、ご利用の証券会社等へご連絡をお願いいたします。
証券会社等に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合)、上記のお取扱店にてお取次いたします。
なお、支払明細の発行に関するお手続きにつきましては、みずほ信託銀行の上記連絡先にお問合せください。



表紙写真：深圳港

広東省珠江三角洲南部に位置する国際貿易港で、蛇口、塩田など10港区で構成され、世界230か所の港湾と貿易の往来があります。コンテナ取扱量は2,400万TEUを超え、上海、シンガポールに次いで世界第3位を誇ります(20フィートコンテナ換算)。

 内外トランスライン株式会社

〒541-0052 大阪市中央区安土町三丁目5番12号 御堂筋安土町ビル3階
TEL 06-6260-4710 FAX 06-6260-4719

